



北海道財務局
公式マスコットキャラクター
「きたまるん」

オホーツク圏経済情勢報告(令和8年7月判断)

令和8年8月 公表

財務省北海道財務局北見出張所

目 次

概況		2
1. 個人消費		3、4
2. 観光		5
3. 雇用		6
4. 公共事業		7
5. 住宅着工		7
【参考】金融		8

○利用上の注意

- 1 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- 2 本指標は、管内分の数値等を算出するため、公表数値等を当所が独自に集計及び調整したものであり、公表元の数値と必ずしも一致しない部分があります。
また、公表数値が不定期に改訂されることもあります。

○符号の用法は次の通りです。

「0」～単位未満 「－」～該当数値なし 「R」～改訂値 「▲」～マイナス 「P」～速報値

総括判断

前回（8年4月判断）	前回比較	今回（8年7月判断）
持ち直しつつある	➡	持ち直しつつある

※ 判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、13期連続

各項目の判断

	前回（8年4月判断）	前回比較	今回（8年7月判断）
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある
観光	回復している	➡	回復している
雇用	緩やかに持ち直しつつある	➡	緩やかに持ち直しつつある
公共事業	前年を上回る	↘	前年を下回る
住宅着工	前年を下回る	↗	前年を上回る

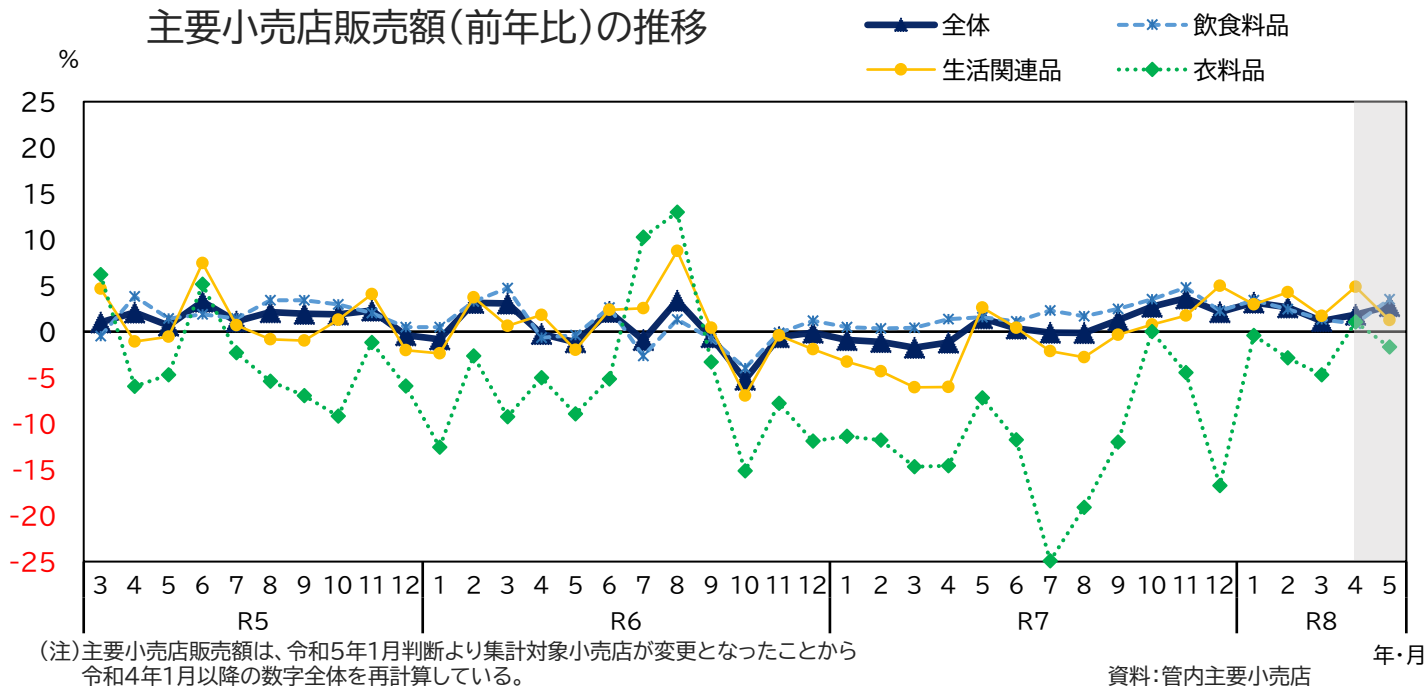
先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を引き続き注視する必要がある。

(注)8年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1. 個人消費 ～物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある～

主要小売店販売額(前年比)の推移



【前年同期比(4-5月)】

全体 : + 2.3%
飲食料品 : + 2.2%
生活関連品 : + 3.0%
衣料品 : ▲ 0.3%

【販売額構成比(4-5月)】

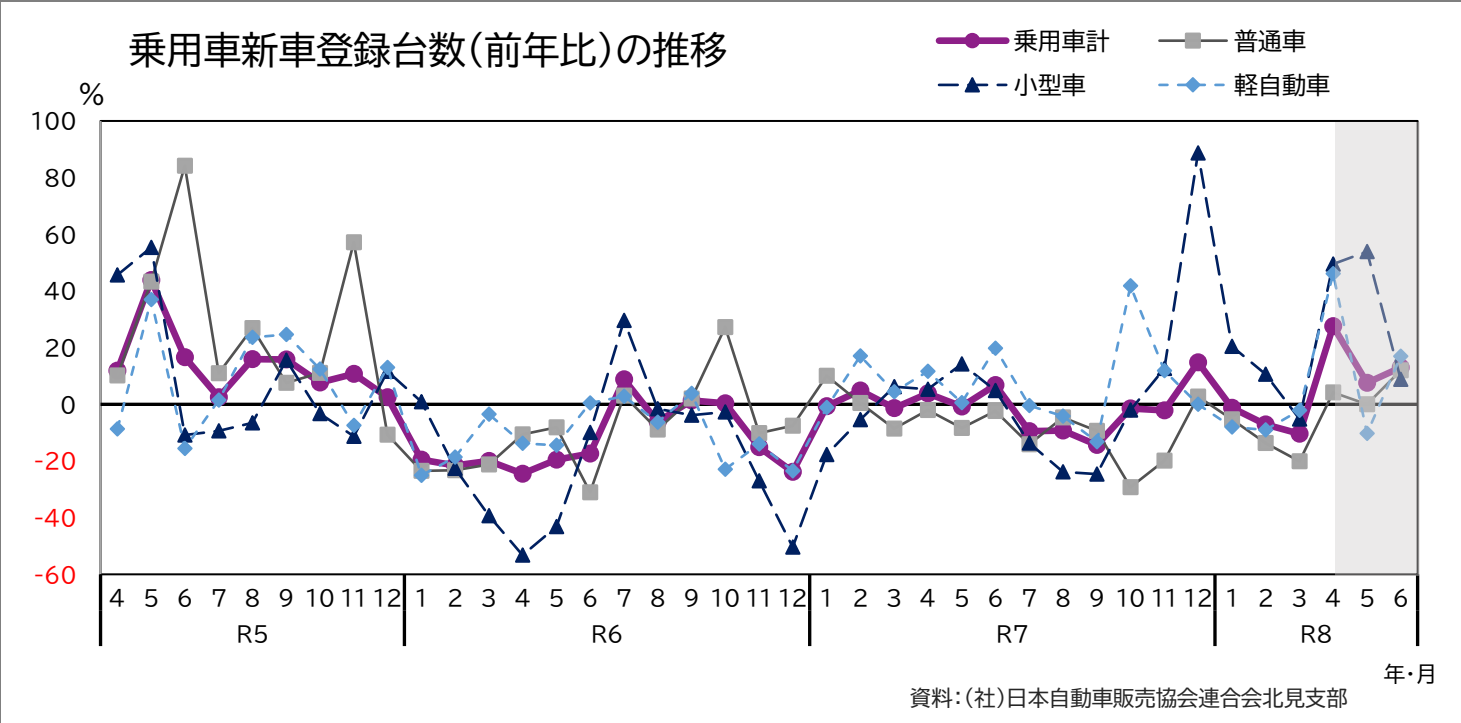
飲食料品 : 71.9%
生活関連品 : 24.5%
衣料品 : 3.6%

》》 動向

- 飲食料品は、節約の動きが見られるが、商品単価が上昇していることから、前年を上回っている。
- 生活関連品は、中東情勢の影響を懸念し、ナフサ由来商品の需要が一時的に増えたことなどから、前年を上回っている。
- 衣料品は、紳士服やビジネススーツの売れ行きが低調だったことなどから、前年を下回っている。

》》 企業・関係団体からの生の声(大型小売店)

- 米の価格高騰時に代替品としてパンや麺類を購入していた人は、米の価格が下がってきても、引き続きこれら代替品を購入していると感じられる。
- 円安などの影響により輸入肉の価格が上昇しており、国産肉との価格差がなくなってきていることから、国産肉の需要が高まっている。
- 中東情勢の影響を懸念し、トイレットペーパーなど紙製品の需要が増えた時期があったが、最近では、ナフサ不足に関する報道が増え、ゴミ袋や化粧品などナフサ由来商品に需要がシフトしてきている。
- 価格の高い紳士服は節約の対象にされやすいため、ビジネススーツもセットアップのジャケット・スラックスのような比較的安価なものが売れ筋となってきている。
- 物価高の影響により、生活必需品は節約し、娯楽などのイベント時には消費するといったメリハリ消費の傾向が一層顕著になっていると感じる。



【前年同期比(4-6月)】

乗用車計	: + 15.9%
普通車	: + 5.7%
小型車	: + 32.1%
軽自動車	: + 17.4%

【構成比(4-6月)】

普通車	: 37.3%
小型車	: 25.6%
軽自動車	: 37.1%

》 動向

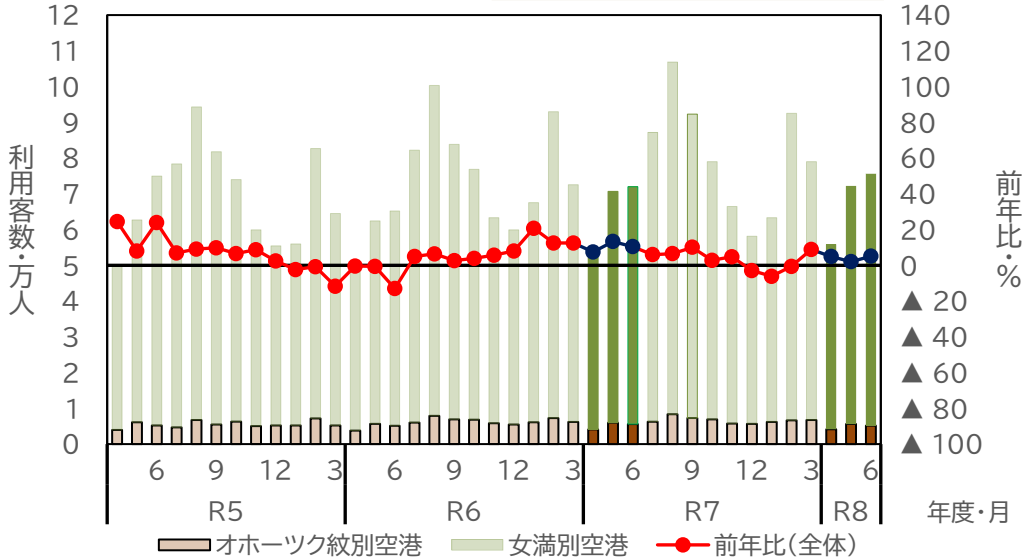
- 普通車、小型車、軽自動車のすべての乗用車において前年を上回っている。
- 節約志向が高まっているが、小型車及び軽自動車を中心として底堅い需要があり、認証不正問題(R6)から緩やかに回復しつつある。

》 企業・関係団体からの生の声

- 新車を購入するにあたって、支払方法を工夫する人が増えてきており、通常のクレジット払いではなく、低金利の残価設定型ローンなどを利用し、毎月の支払額を抑える動きが見られる。(自動車販売業)
- 販売価格が上昇している主な要因として、最近は質の高い安全装備などが標準搭載されるようになってきており、その分の製造コストが上昇していることが挙げられる。(自動車関連団体)
- 中東情勢の影響によりガソリン価格の上昇が続けば、ガソリン車からハイブリッド車へのシフトがより一層進んでいくと考えられる。(自動車関連団体)
- 中東情勢の影響について、現状では大きくないと聞いているが、今後も原油価格の上昇が続けば、製造コストなどに影響が出てくることも予想される。(自動車関連団体)

空港利用客数の推移

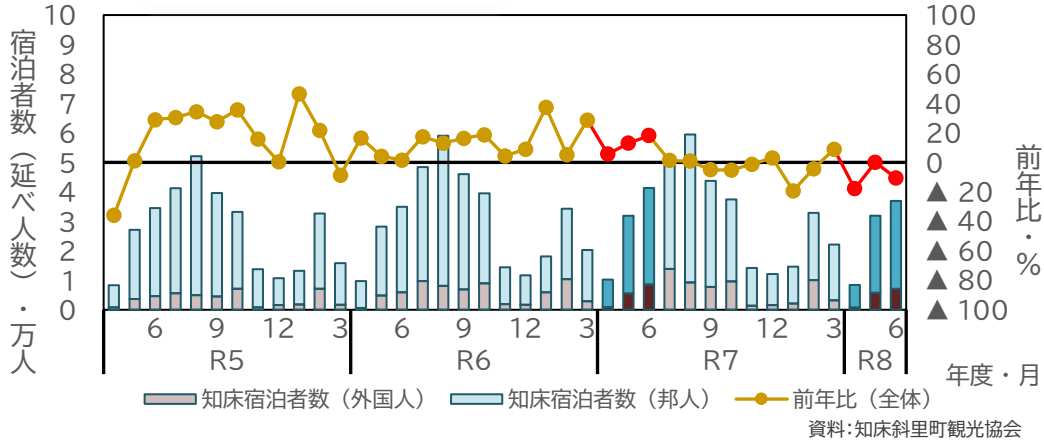
前年同期比(4-6月): +3.9%



資料: 北海道エアポート(株)女満別空港事業所、オホーツク紋別空港管理事務所

知床宿泊者数の推移

前年同期比(4-6月): ▲7.4%



資料: 知床斜里町観光協会

》》 動向

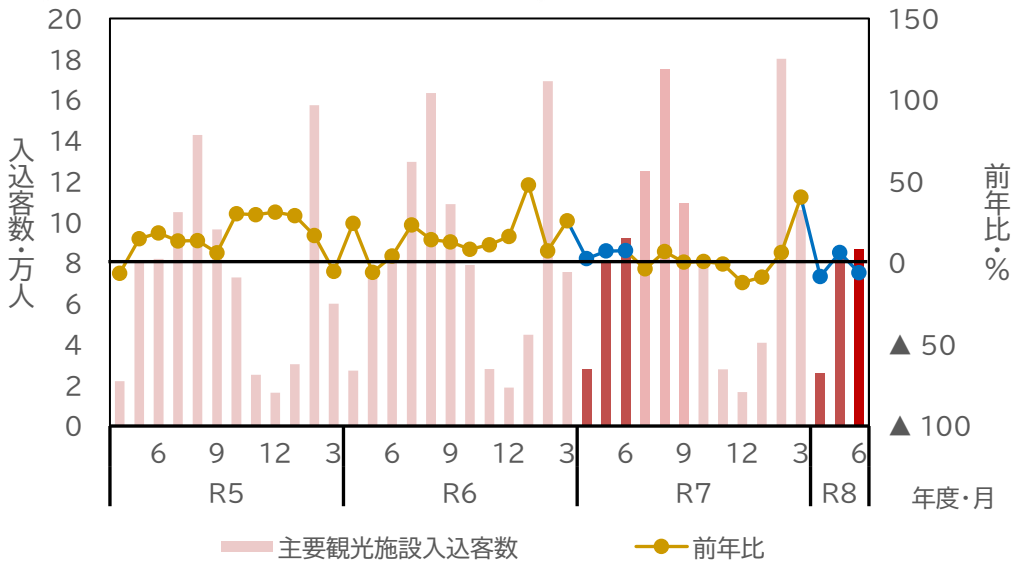
- 空港利用客数は、東京便の提供座席数増加により、前年を上回っている。
- 主要観光施設入込客数は、施設によってばらつきがあるものの、全体では前年を下回っている。
- 知床宿泊者数は、国内・海外客ともに減少し、前年を下回っている。

》》 企業・関係団体からの生の声

- 3月に公開された映画『ゴールデンカムイ』の影響や、市の助成金を用いたキャンペーンにより、網走監獄やその周辺施設への入込が好調だった。(観光協会)
- 昨年は、世界自然遺産登録20周年を記念するツアーが盛んに企画された一方、その反動減により足元では団体ツアーの数が減少している。(知床地区・宿泊施設)
- 中国本土からの観光客は、一部で渡航自粛の動きが見られたほか、ホテルの宿泊費高騰により富裕層がメインになってきているため、全体として宿泊者が減少したと考えられる。(観光協会)
- 道内客は、GWなど、宿泊費の高い日程を避け、比較的安い日程を選ぶ傾向が見受けられる。(知床地区・宿泊施設)
- 近年は、閑散期とされるグリーンシーズン(5~10月)において、SNSや雑誌の特集などにより海外客の入込が増えているなど、先行きは好調と見ている。(観光協会)

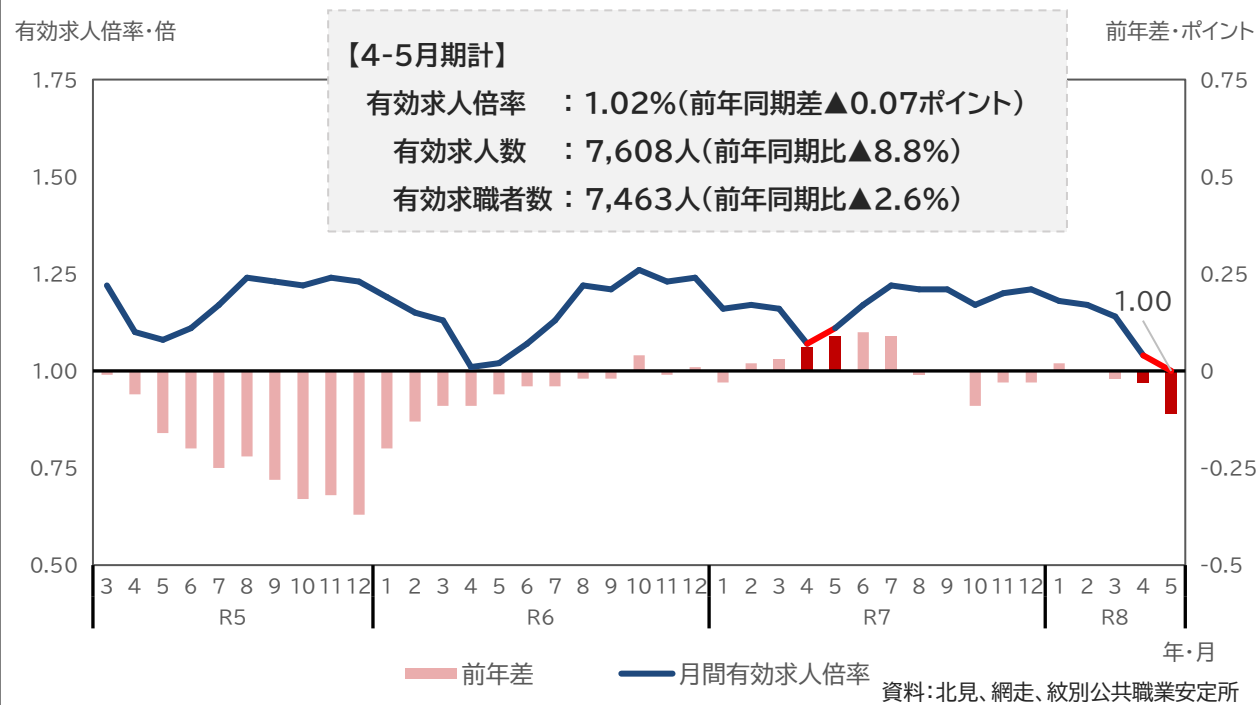
主要観光施設入込客数の推移

前年同期比(4-6月): ▲1.4%

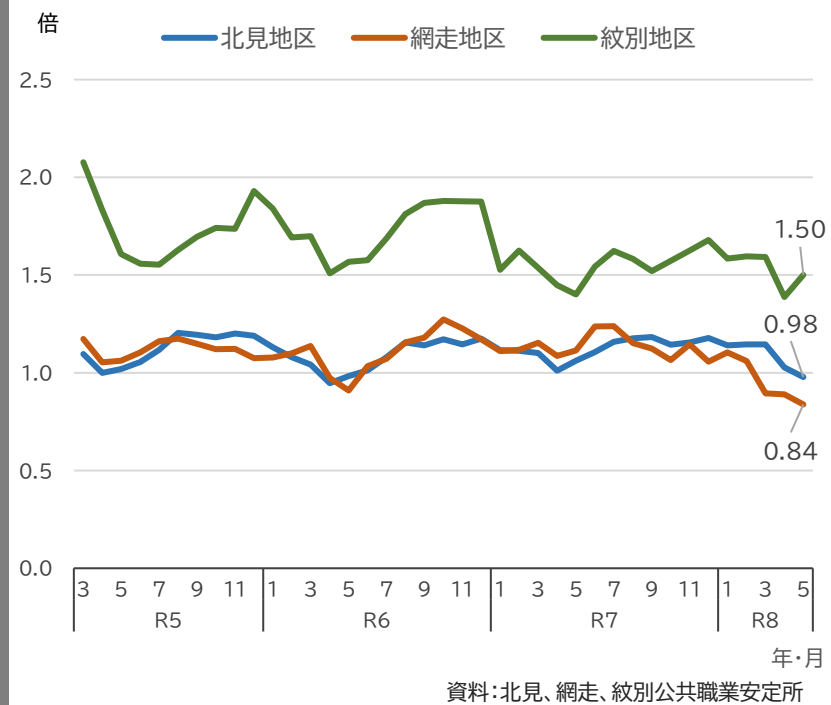


資料: 網走市観光協会、オホーツク管内各観光施設

有効求人倍率(常用)の推移



有効求人倍率(常用)の推移(地区別)



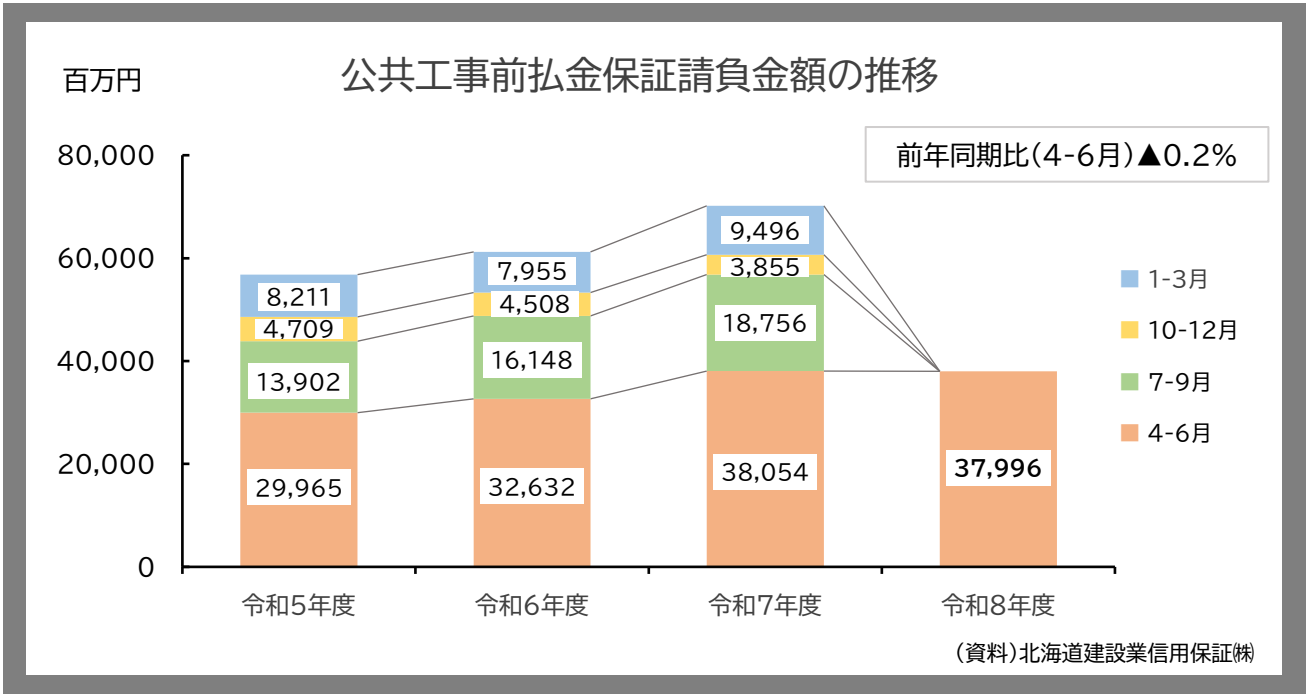
>> 動向

- 有効求人倍率は、有効求職者数が減少した一方、それを上回って有効求人数が減少したことから、前年を下回っている。

>> 企業・関係団体からの生の声

- 資格が必要な業種では後継者が不足しており、企業側の引き留めにより高齢の従業員が辞めるに辞められないケースも見られる。(公共職業安定所)
- 引き続き、従業員は不足気味である中、働き方改革により一人当たりの労働時間も減っており、従業員の熟練度が低下しているなど、サービスの質の低下が懸念される。(宿泊業)
- 高校生向けの企業説明会にも参加しているが、営業職について悪いイメージ(ノルマがあって大変だというイメージ)を持っている学生が多く、なかなか人が集まらない状況にある。(自動車販売業)
- 昨今は、外国人雇用や求人アプリの利用者が増えていることから、求人数・求職者数ともに実態把握が難しくなっている。(公共職業安定所)
- 紋別地区は、水産加工など第二次産業を中心とした求人が多いため、有効求人倍率が比較的高くなる傾向にある。(公共職業安定所)

4. 公共事業 ～前年を下回る～



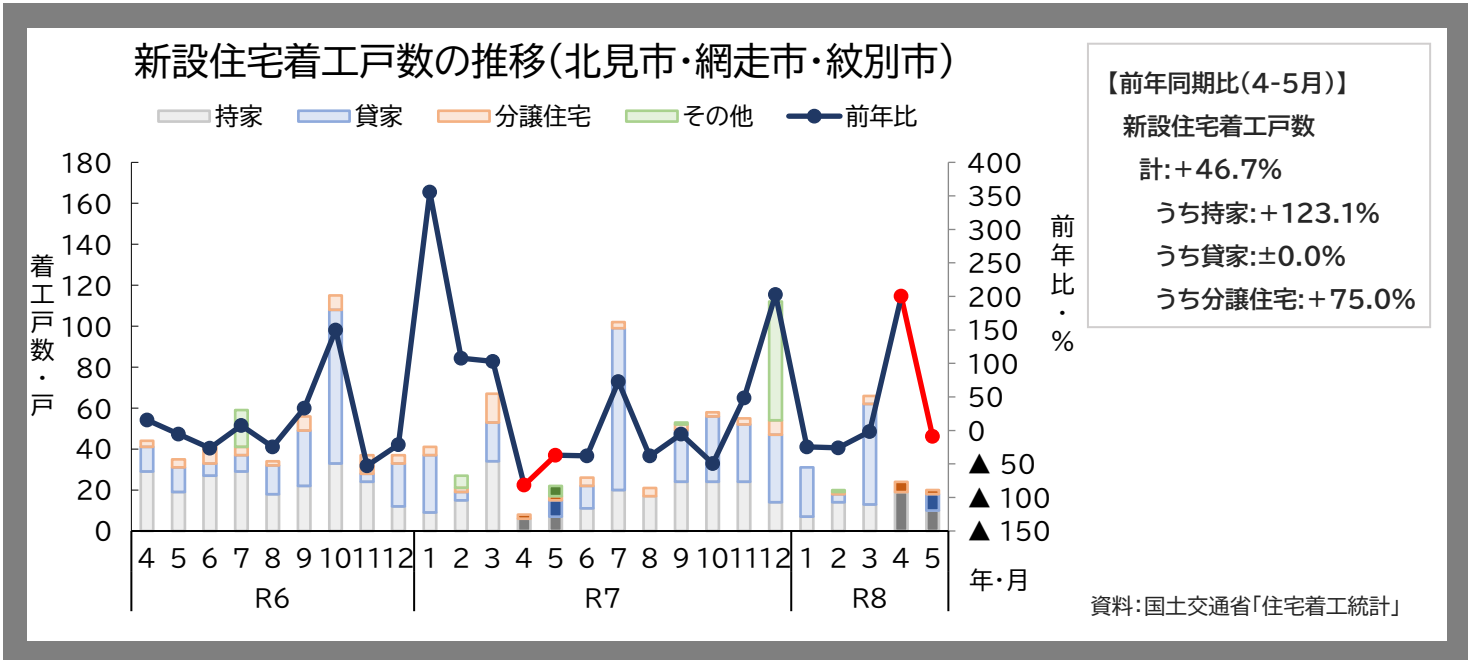
>> 動向

- 公共工事を前払金保証請負金額でみると、第1四半期はわずかながら前年を下回っている。

>> 企業・関係団体からの生の声

- 建築工事は、建設コスト上昇を受けた計画見直しにより、発注時期が後ろ倒しとなるケースが増えてきており、人繰りを含めた受注の調整に苦慮している。(建設業)
- 土木工事については、発注時期が後ろ倒しとなっている印象はないものの、設計単価の上昇を受けて工事一件当たりの規模が縮小している。(建設業)
- 生コンや塩ビ管をはじめとする資材価格の高騰に対し、落札金額への価格転嫁が追い付いておらず、利益率は前年よりも低下している。(建設業)

5. 住宅着工 ～前年を上回る～

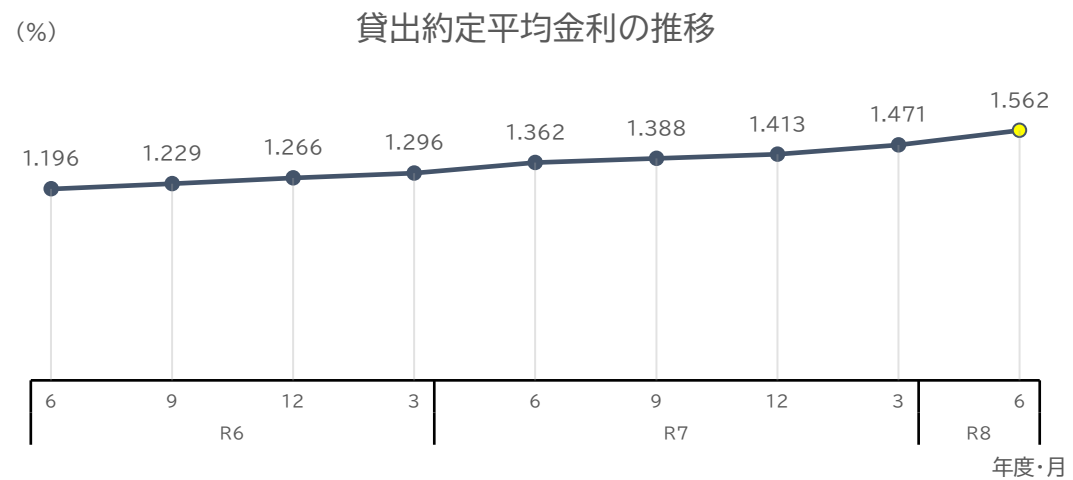
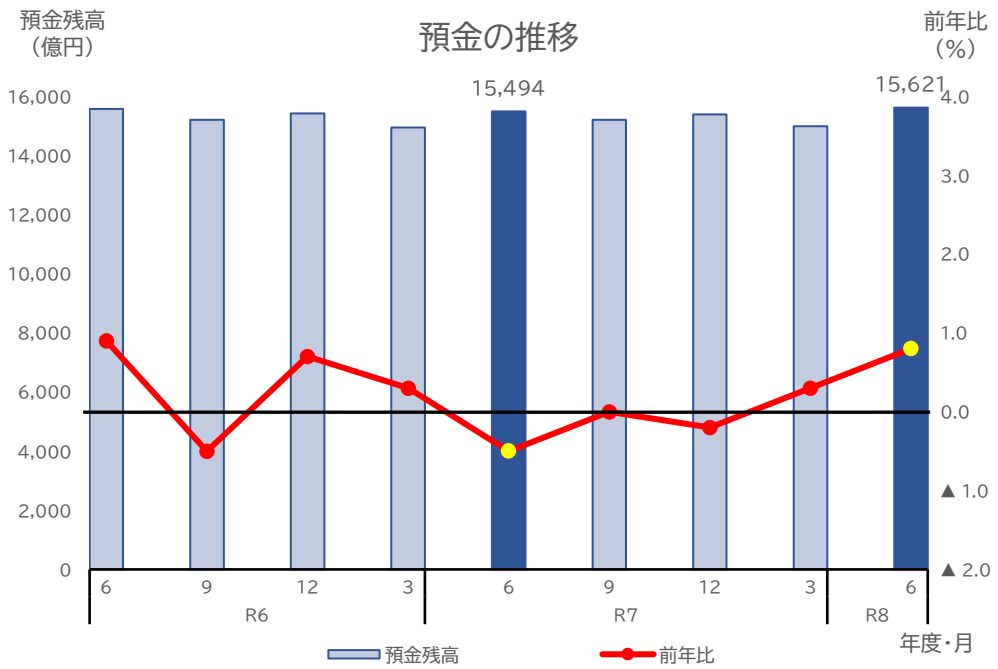
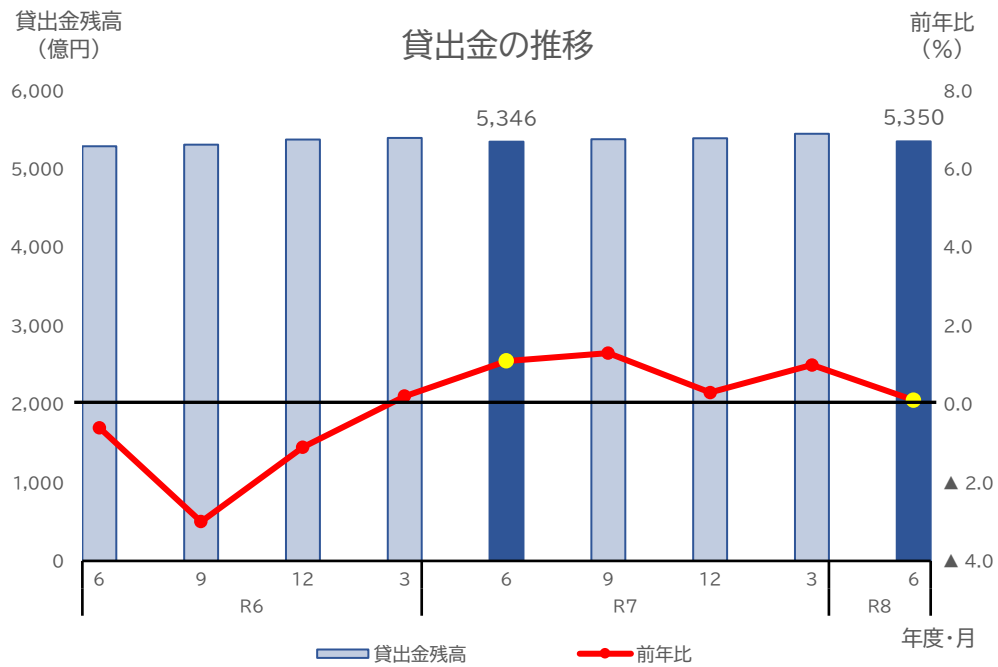


>> 動向

- 管内3市の新設住宅着工戸数をみると、前年は建築基準法改正の影響で低調に推移したものの、今年はその反動増により、前年を上回っている。

>> 企業・関係団体からの生の声

- 足元の長期金利の上昇に伴い、住宅ローンの金利も引き上げられており、住宅取得の金利負担が重くなっている。(金融機関)
- 新築戸建住宅は4,000万円を超えるケースもあり、新築住宅の購入を見送り、中古住宅を購入してリフォームする動きがみられる。(不動産業)



貸出金・預金・貸出約定平均金利の推移(銀行・信用金庫) (単位:億円、%、ポイント)

時点	貸 出 金 残 高								預 金 残 高		貸出約定平均金利	
	前年比		設 備 資 金		運 転 資 金		地方公共団体					
			前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比				
R4. 3末	5,402	▲ 0.7	2,264	1.8	1,842	▲ 1.8	1,297	▲ 3.2	14,509	3.4	1,131	▲ 0.018
R5. 3末	5,403	0.0	2,353	3.9	1,852	0.6	1,198	▲ 7.6	14,681	1.2	1,148	0.017
R6. 3末	5,385	▲ 0.3	2,381	1.2	1,809	▲ 2.3	1,195	▲ 0.2	14,900	1.5	1,176	0.028
6末	5,289	▲ 0.6	2,379	0.9	1,765	▲ 1.6	1,145	▲ 2.1	15,575	0.9	1,196	0.042
9末	5,307	▲ 3.0	2,391	1.0	1,829	▲ 6.6	1,086	▲ 4.8	15,210	▲ 0.5	1,229	0.067
12末	5,374	▲ 1.1	2,415	1.6	1,840	▲ 4.9	1,118	▲ 0.2	15,423	0.7	1,266	0.107
R7. 3末	5,394	0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	4.4	14,949	0.3	1,296	0.120
6末	5,346	1.1	2,447	2.9	1,698	▲ 3.8	1,200	4.8	15,494	▲ 0.5	1,362	0.166
9末	5,376	1.3	2,435	1.8	1,803	▲ 1.4	1,138	4.7	15,212	0.0	1,388	0.159
12末	5,391	0.3	2,465	2.1	1,789	▲ 2.8	1,138	1.7	15,395	▲ 0.2	1,413	0.147
R8. 3末	5,449	1.0	2,460	1.0	1,760	2.9	1,229	▲ 1.5	14,996	0.3	1,471	0.175
6末	5,350	0.1	2,468	0.9	1,674	▲ 1.4	1,207	0.6	15,621	0.8	1,562	0.200

※管内に所在する銀行、信用金庫の本支店分の合計。(ゆうちょ銀行を含まない。)
※R8.7判断から、四半期ごとのデータを基に集計。

資料:北海道財務局北見出張所

金融機関からの生の声

- 設備資金については、融資先数は変わらないものの、物価高騰による建築単価等の上昇により、融資額は不動産業を中心に増加している。
- 中東情勢の影響により、印刷業や車両整備業ではインク、オイル不足から資金繰りに不安があるとの声も出ている。
- 預金は、定期預金キャンペーンの実施により、個人預金が好調となり前年を上回っている。

【問い合わせ先】

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

財務省 北海道財務局 北見出張所 財務課

〒090-0018 北見市青葉町6番8号 北見地方合同庁舎
TEL 0157(24)4167

本報告は、北海道財務局北見出張所ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス：<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>

北海道財務局北見出張所

検 索



オホーッ
クール
cool!